

II-70 秋田県南部海岸での短期的漂砂動向

秋田大学 学生員 照井孝幸 ○中嶋卓朗 正員 松富英夫
(財)漁港漁村建設技術研究所 池田正人

1. まえがき 秋田県南部海岸に島式漁港が築造され始めた。これに伴い、周辺海岸かどのように影響を受けていくのかを追跡することは、今後のことを考えれば意義がある。本研究は、現地での追跡調査から得られたデータを基に、対象海岸での沿岸方向漂砂の動向や地形変化の傾向について検討を行うものである。

2. 対象域・調査項目と方法 雄物川以南、平沢漁港以北の約45kmの海岸を対象とした（図-1）。調査項目は、①汀線での中央粒径の経時変化、②汀線位置と浜部縦断地形の経時変化、③中小河川流心線の経時変化、④既設構造物基部での汀線位置の経時変化の4項目である。調査間隔は約2週間とした。調査点数は、①が12点、②が9点、③が9点、④が松ヶ崎、西目（図-4）、平沢の3漁港と本荘マリーナ海水浴場の4点である。図-1中の番号が測点番号で、S付きの番号は写真撮影点であることを示す。



図-1

3. 中央粒径の経時変化 各測点の汀線での中央粒径の経時変化を表-1に示す。表中の+は、周辺に海岸構造物がなく、信頼できるデータであることを示す。表より次のことが判断される。①子吉川以南では、各測点の粒径の平均値が南下するにつれて小さくなっていることから、沿岸漂砂の卓越方向は北から南と思われる¹⁾。②子吉川以北では、粒径変化に規則性がなく、明確なことは言い難い。敢えて言うならば、沿岸漂砂の卓越方向は、4~9月までは平衡か北上傾向、10~3月までは北上もあれば南下もあるが（これ等は2カ月は継続する）、これまでの観測では、北上か卓越している（図-2）。

4. 汀線位置と浜部縦断地形の経時変化 汀線位置と浜部縦断地形の経時変化より、汀線の前進・後退と浜部の堆積・侵食の変化状況をみたものを表-2に示す。表より、以下のことが判断される。①汀線の前進・後退は対象海岸の全域で、ほぼ同時に生じる傾向にある。②冬期に汀線の前進・後退、浜部の堆積・侵食の変化が激しい。汀線の前進・後退と浜部の堆積・侵食の形態別頻度を表-3に示す。表より、汀線前進時に堆積、後退時に侵食という常識

的な変形形態をとっていることが判る。汀線位置の経時変化を図-3に示す。St.4と6で、観測開始時に比べて、20m程度の恒常的な汀線の前進がみられる。これは、St.4では1992年5月から人工リーフの築造が始まったこと、St.6では島式漁港の築造が進んだことによると思われる。子吉川以南では、年間を通しての汀線位置は安定的であることが判る。

5. 河川流心線の経時変化 観測毎の河川流心線の変化より、漂砂方向を判定した結果を表-4に示す。表より以下のことが判断される。①汀線の前進・後退は、表-2でも判断されたように、St.1S~18Sまでの全域で、ほぼ同時に生じる傾向にある。

②通年では、汀線の前進・後退、河川流心線の北上・南下の変化は子吉川以南よりも以北の方で大きい傾向にある。ただし、諸構造物の影響のためか、明確な規則性はみられない。③St.1Sは雄物川に近いためか、南下の傾向が強い。St.0での粒径も大きい。

6. 汀線変化のスペクトル解析 スペクトルの推定法としてMEM法を採用した。データは、各実測値を図形ソフト“花子”の自由曲線で結び、15日間隔で読み取ったものを用いた。ここで問題となるのが予測誤差フィルターの打ち切り項数nである。予測誤差の期待値に明確な極小値がみられなかったので、n=12、18の2つの場合を示すことにした（図-5）。パワー・スペクトルP(m²/s)のピーク周期は、St.2が32, 54, 135日、St.6が34, 45, 135日、St.15が42, 60, 135日、St.18が30, 45, 90日となった。

《参考文献》 1)松富他：海岸工学論文集、1992.

表-3 各形態の頻度

#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	形態	回数
'90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	前進・堆積	82(39)
'91	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	前進・侵食	19(6)
'92	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	後退・侵食	82(38)
													後退・堆積	17(6)

注) ■: 北上傾向、■: 南下傾向、□: 平面状態、—: 未採取

図-2

表-1 沿岸での中央投げの移動変化 (mm)

測点	10.16	11.19	12.16	'91.1	2.16	2.8	4.24	5.29	6.16	7.1	8.1	8.22	9.30	9.13	9.20	10.14	10.29
2+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-	1.11	0.70	0.36	1.26	0.43	1.51	0.53	0.48	0.54	0.39*	0.26	0.24*	0.25	0.25	0.26	0.32	0.57
6+	0.32	0.56	0.29	0.78	0.54	0.49	0.42	0.43	0.82	0.49	0.46	0.36	0.36	0.42	0.65	0.44	0.46
8-	0.35	0.51	0.26	0.51	0.44	0.48	0.46	0.46	0.50	0.47	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
10-	0.65	0.95	1.09*	0.82	0.47	0.47	0.46	0.46	0.50	0.47	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
12+	0.51	0.54	1.16*	0.71	0.49	0.37*	0.47	0.55	0.50	0.47	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
14-	0.46	0.48	0.94	0.66	0.61	0.64	1.06	0.72	0.85	0.76	0.90	0.87	1.11	1.03	0.95	0.56	1.06
15+	0.24	1.25*	0.91	0.61	0.34	0.66	1.09	0.70	0.56	0.25	0.51	0.27	0.46	0.36	0.49	0.33	0.56
16-	0.26	0.13	0.23	0.36	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
20-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表-2 沿岸での中央投げの移動変化 (mm)

測点	11.16	11.30	12.14	12.21	32.1.8	1.26	2.8	2.24	2.9	4.21	5.16	6.9	9.26	7.15	8.1	8.16	9.1
0-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-	0.01	0.56	0.06	0.21	0.26	0.32	0.24	0.26	0.29	0.57	0.37	0.32	0.34	0.79	0.53*	0.40	0.40
6+	0.85	0.77	0.62	0.56	0.56	0.59	0.42	0.58	0.87	0.85	0.84	0.86	0.85	1.28	0.49	0.49	0.49
8-	0.52	0.57	0.53	0.61	0.49	0.57	0.51	0.48	0.57	0.50	0.88	0.51	0.54	0.53	0.81	0.48	0.48
10-	0.43	0.47	0.42	0.42	0.42	0.56	0.50	0.42	0.42	0.42	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
12+	0.47	0.62	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
14-	0.26	0.24	0.24	0.29	0.42	0.22	0.26	0.26	0.32	0.21	0.42	0.45	0.46	0.33	0.45	0.39	0.39
15+	0.81	0.48	0.48	1.00	0.80	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82	0.87	0.88	0.89	1.58	0.95	0.75	0.54
16-	0.45	0.38	0.38	0.73	0.43	0.41	0.55	0.48	0.48	0.48	0.50	0.50	0.47	0.47	0.52	0.36	0.36
20-	0.23	0.27	0.29	0.29	0.21	0.21	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25

注) *は最大または最小値。-は未記載または記載不能。(-)は参考値を示す。

表-2 沿岸での中央投げの移動変化 (mm)

測点	8.18	10.2	10.17	10.31	11.18	12.2	12.15	12.27	13.1	1.27	平均	最大	最小	最大/最小		
0-	0.32	1.56*	0.82	0.77	0.74	0.22	0.82	1.30	0.86	0.80	0.81	1.68	0.33	3.17		
2+	0.41	0.47	0.47	0.48	0.48	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
4-	0.41	0.47	0.47	0.48	0.48	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
6+	0.75	0.42	0.46	0.43	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.56	0.95	0.38	2.48		
8-	0.56	0.63	0.62	0.62	0.60	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.72	1.68	0.43	3.52		
10-	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
12+	0.75	0.43	0.87	-	-	-	-	-	-	-	0.54	0.76	0.21	3.14		
14-	0.19	0.51	0.66	0.22	0.62	0.61	1.15	0.75	0.82	0.60	0.62	1.58	0.48	3.23		
15+	0.55	0.75	0.69	0.71	0.29	0.00	0.55	0.48	0.48	0.58	1.25	0.28	4.17			
16-	0.48	0.50	0.37	0.28	0.44	0.28	0.28	0.28	0.42	0.27	0.61	0.27	0.26	2.26		
20-	0.25	0.29	0.29	0.37	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25

注) 方向は水底の日付で判断している。矢印の大小は移動量の大きさを示す。また、-は打撃前後、→は打撃後、↑は成長、↓は減少、△は底面浮遊、□は底面。

図-2 沿岸での中央投げの移動変化 (mm)

表-4 沿岸重心線の傾斜度より見た各波浪期間平均の移動方向

測点	10.16	11.19	12.16	'91.1	2.16	2.8	4.24	5.29	6.16	7.1	8.1	8.22	9.30	9.13	9.20	10.14	10.29
0-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(左) 移動方向は各波の日付で判断している。矢印の大小は移動量の大きさを示す。また、→は打撃前後、→は打撃後、↑は成長、↓は減少、△は底面浮遊、□は底面を示す。

(右) 方向は各波の日付で判断している。矢印の大小は移動量の大きさを示す。また、→は打撃前後、→は打撃後、↑は成長、↓は減少、△は底面浮遊、□は底面を示す。

図-3